



発行所 ■ 西東京・生活者ネットワーク



発行責任者/渡辺 嘉津子 発行日/2018年2月1日  
〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-102  
FAX/042-410-0014 E-mail/nishitokyo@seikatsusha.net

TEL 042-453-4121



## !? 公共交通空白 地域の移動

高齢になって、またケガをして自転車に乗れない、雨の日に幼子を連れての移動が困難、そんな移動困難者となったとき、バス停などが身近にあればよいですが、公共交通の空白地域の場合どうすればよいのか？——当事者の思いはどこにあるか。

西東京・生活者ネットワーク（以下ネット）は、調査活動をもとに政策提案をしています。今回は、移動についての聞き取り調査を行いました。

### 不安の声を聞き取り

「はなバス」を通すこともできない狭い道で、おまけに坂がきつい地域の移動困難者にとって外出は切実な問題です。そこで、そのような地域として南町の一部で聞き取り調査を行いました。

約200件中64件と回答者数は必ずしも多くはありませんでしたが、高齢の方を含む当事者の声を聞くことができました。「今は何とかなるけどもつと年を取ったら不安」「向かいのおばあちゃんが買い物に困っている」などの切実な声でした。

### 「移動手段があれば使いたい」

調査の結果、注目すべきは、現在、自転車で移動している人の約40%、徒歩の人の約70%が、新しい移動手段があれば使いたいと回答したことです。自転車利用者の多くは高齢とともに徒歩移動へと移行することから、何らかの交通手段の確保が急務の課題であることは明らかです。

ただし、税金を使って走らせるコミュニティバス（はなバス）は、路線沿線の市民しか恩恵に預かれ

ないため、税の再配分という点では課題もあります。昨年4月のネットの学習会で、中央大学の秋山哲男教授が指摘された、はなバスに代わる新たな交通手段の必要性を再認識しました。

### 行政も検討を開始

ワンボックスカーで既定の路線を運行するコミュニティタクシーや、デマンドバス利用したい人が利用したい時に、利用したい場所から場所に移動できるものや、路線は決まっていますが乗り降り自由などさまざまな種類があるなどが代替交通手段として考えられますが、費用対効果の検証や民間事業者との調整も必要となります。

ネットでは議会ごとこの問題を取り上げてきましたが、ようやく行政も本腰をあげ、昨夏、南町、向台町、柳沢の一部地域を対象にアンケート調査を実施、今年1月

末には調査結果の説明会が開催されました。2月以降には地域での勉強会を立ち上げ、該当地域にもっともふさわしい新たな移動支援を、住民参加のもとでつくりあげていくとのことです。

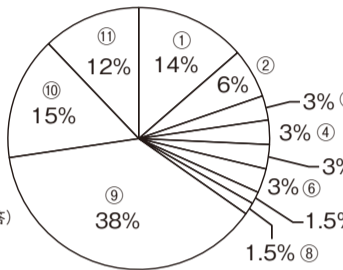
### まずは、実証実験を

公共交通の空白地域は、市内の他の地域にもあります。高齢者の健康維持には外出支援が欠かせません。「みんなで使い育てていこう」と思える地域公共交通の姿を市民参加で描くためにも、まずは早期に実証実験を実施していくことを求めてまいります。

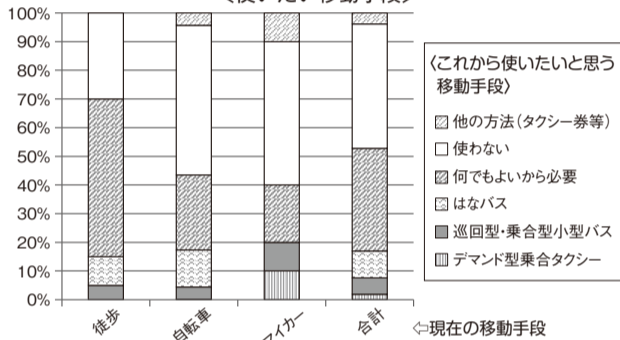
今回の調査分析では、地元在住の専門家の力もお貸し頂きました。専門分野で長年働いてこられた方たちの豊かな知見を活かしていくことが、市民力・地域力のあ

【困っていること】

- ① 坂道がづらい
- ② はなバスルートがない
- ③ カートでのバスの乗降が不便
- ④ 近所の商店がなくなった
- ⑤ 免許を返戻し不便
- ⑥ 足が痛い等動けない
- ⑦ バスの乗り換えが不便
- ⑧ 自転車が使えない
- ⑨ なし
- ⑩ その他
- ⑪ 不明



【使いたい移動手段】



## 映画上映会

2月	『ジェンダー・マリアージュ』 全米を揺るがした同性婚裁判を追ったドキュメント。各賞受賞作 2月24日(土) 10:30~12:30
3月	『コスタリカの奇跡』 軍隊を持たず、福祉・医療に予算を充てる国・コスタリカの奇跡 3月25日(日) ①13:15~14:45 ②15:00~16:30
4月	お金の行方を考える2作品を上映 『ザ・トゥルー・コスト ~ファストファッション 真の代償~』 4月29日(日) 13:10~14:45 4月30日(月・振休) 15:00~16:35
	『ポバティー・インク ~あなたの寄付の不都合な真実~』 4月29日(日) 15:00~16:35 4月30日(月・振休) 13:10~14:45 ※2作品とも鑑賞の場合、1700円に割引

入場料は、いずれも1000円、子ども・学生500円(当日のみ)  
場所は、プラス・ド・パスレル(保谷庁舎・こもればいホールの前)(西東京市泉町3-12-25パスレル保谷2F 1F・生活クラブ生協)

※収容人数は、約30人。ご予約優先(ほぼ入場可能と思われませんが、ご心配な方は、電話またはメールでご予約下さい。メールの場合、こちらから返信をさせていただいた時点でご予約完了ですので、返信がない場合は、お手数ですがお問い合わせください)



木・々外観

保谷町6-25-1  
TEL: 042-425-6800

想像してみてください。自然と笑顔になる「ケアラース・カフェ」、麻雀・俳句・絵手紙・映画を楽しむ姿、子ども食堂や勉強部屋での子どもたちの笑顔、徘徊途中でのお茶タイム、大声が響く「歌声もくもく」、大賑わいのマルシェ。想像できることは実現できます。みんなで一緒に実現しましょう。元気に徘徊できるまちを。コミュニティ・レストラン「木・々」

代表・鈴木美紀

## 街角

コミュニティ・レストラン「木・々」をオープンして17年。多くの出会いで、私は、ひとり暮らしになっても、認知症になっても、このまちで、安心して徘徊できると思えるようになりました。昨年末に食事部門を閉じましたが、2018年からの「木・々」は、居場所づくりを充実させます。想像してみてください。自然と笑顔になる「ケアラース・カフェ」、麻雀・俳句・絵手紙・映画を楽しむ姿、子ども食堂や勉強部屋での子どもたちの笑顔、徘徊途中でのお茶タイム、大声が響く「歌声もくもく」、大賑わいのマルシェ。想像できることは実現できます。みんなで一緒に実現しましょう。元気に徘徊できるまちを。

ネットの活動を応援いただける方なら誰でもOK!

サポーター募集

1年間の登録会費: 1200円  
(毎月発行の「生活者通信」付)

登録は簡単です。郵便局の払込取扱票の通信欄に「サポーター登録」とご連絡先をご記入いただき、会費をお振込みください。

口座番号: 00170-9-36320

加入者名: 西東京・生活者ネットワーク